



努力し続けることの大切さ

学校周辺の水田は、稲の刈り入れも終わり、あとは降雪を待つのみとなり、なんとなくさみしさを感じさせます。

当校の生徒は日々の学校生活に落ち着いて取り組んでくれています。大きな行事も終わり、学習や部活動、趣味に取り組める時期になってきました。3年生は3学期に行われる高校入試に向け、勉強に真剣に取り組まなければいけない時期になりました。自分の夢に向かい、一日一日を大切にしてほしいと思っています。

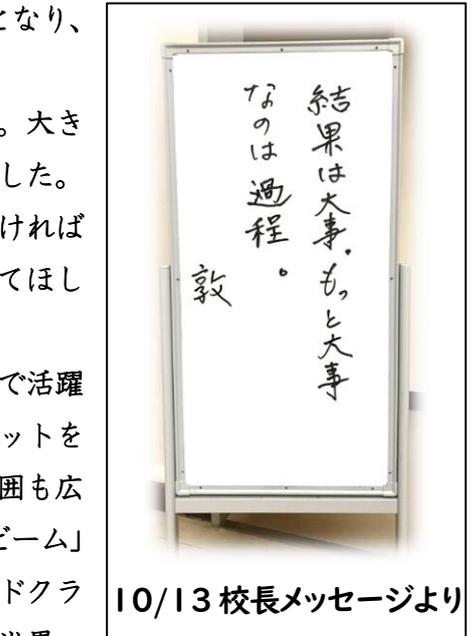
さて、日本のオリックスやアメリカのマリナーズ、ヤンキースなどで活躍したプロ野球のイチロー選手を知っていますか。日米通算4367本のヒットを打った偉大な選手です。バッターとしてだけでなく足が速く、守備範囲も広く強肩でライトからサードやホームへの返球は、速く低く「レーザービーム」と称され、観衆を沸かせるプレーにはいつも驚かされました。ワールドクラシックベースボールでは韓国戦でも貴重なセンター前ヒットを打ち、世界に貢献したことでも知られています。4000本安打を達成した人は、広い世界の中でも、野球の長い歴史の中でも、イチロー選手を含めてわずか3名しかいません。すばらしい記録を残した選手です。

記念となる4000本のヒットを打った後、イチロー選手は、次のように語っています。

ぼくが誇れるとしたら、それは結果ではない。4000本ヒットを打つために8000回以上ヒットを打てず、悔しい思いをした。それとしっかり向き合えたことだ。

4000本打ったことより、打てなかった悔しさを胸に練習に励み、前進できたことを誇りに思うと話しているのです。大切なことは、成功することだけではなく、そのために「全力で努力すること」だと私は思いました。また、イチロー選手は次のようにも話しています。

数字よりも、チームメイトやファンの人たちがこんなに祝福してくれるとは全く想像しなかったので、それがとても心に刻まれた。結局、4000という数字が特別なものをつくるのではなくて、自分以外の人たちがつくってくれるものだと強く思った。



10/13 校長メッセージより



周りの人が、4000本安打という記録を認め称えてくれるからこそ、この結果がより大きな意味を持つものだと話しているのです。自分を支えてくれているたくさんの人たちの大切さや、ありがたさを謙虚に話しているのだと思います。

当校でも、自分で時間をみつけて、自主学习や部活動などの練習に取り組める生徒がいます。そのような生徒は自分に自信が持てるようになります。人から言われてやるのではなく（もちろん、小学生の時や取組の最初は人から言われてやることが多いでしょうが・・・）、自分の意志（分かるようになりたい、いい点数をとりたい、いいタイムを出したい、上手に演奏したいなど）で取り組むことが、よい結果につながるのではないかと思います。また、がんばってもすぐにはよい結果につながらないこともあるはずです。そんなときでも、**あきらめずがんばって努力を続けられる生徒に育てほしい**と思います。

三日坊主には
ならないでください。
「あきらめたら、そこで
試合終了」です。



校舎を彩る美術作品 ～美術授業制作作品の展示～

芸術の秋です。今、頸城中学校には、生徒制作の美術作品がたくさん展示されています。1年生の「風景画」、2年生の「ステンドグラス」が掲示されている1～2階への階段踊り場は、まさにアートホール。今後は3年生デザイン画「マイ・ルーム」も掲示予定です。ご来校された際には、是非生徒の作品をご覧いただきたいと思います。

1年生「風景画」

「淡彩技法」を駆使しながら、時間を掛けて細部まで丁寧に描きました。淡彩技法とは水っぽく塗り方で、頑張って描いた絵が透けて見える、下絵がつぶれない技法です。



2年生「ステンドグラス」

2人1組でひとつの作品を制作しました。美術（芸術）には「生活や環境を彩る」という機能があります。それぞれの作品が、校舎階段を美しく彩り、通る人や見る人の心を動かしします。



いつでも中学校にご来校ください

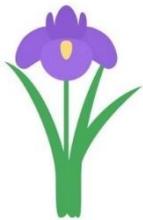
コロナ禍ではありますが、保護者や地域の皆様のご来校は歓迎します。マスク着用のうえ、いつでもご来校ください。なお、中学校にお寄りの際は、是非「カフェ校長室」へ！お茶やコーヒーを用意してお待ちしております。



全校あやめ植栽活動 ～未来に届け、私たちの想い～

10月29日（木）に、頸城区の花である「あやめ」を全校生徒が地域の皆さん（くびき花の会、区青少年育成会議、中学校後援会、中学校運営協議会）と協働して校地内に植栽しました。

当日は、まず頸城区の花「あやめ」の制定に携わられた地域の方から、歴史や当時の皆さんの想いをご講話いただきました。その後、くびき花の会の皆さんから苗の植え方をご指導いただき、全校生徒が1人1束のあやめ苗を校地内の緑地に植栽しました。



植えたあやめが花咲くのは2～3年後とのこと。つまり、今回の植栽活動は今の自分たちのためだけでなく、未来の頸城中生徒に向けられたものです。今回の活動をとおして、郷土の歴史を学ぶとともに、郷土や学校の未来のために、地域の一員として、今、自分に何ができるかを考えるきっかけになればと思います。



いじめ見逃しゼロスクール集会

11月10日（火）に頸城区内の3小学校の6年生を招き、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を開催しました。例年、武道場に小6～中3全員が集まって開催していましたが、今年度はコロナ禍であることを考慮し、校内6会場での分散開催となりました。

第一部は、配付されたスマホのチャット資料を見て、これが「いじめ」「いじり」「普通のやりとり」のどれに当てはまるのか、自分の考えを色画用紙で示しました。また、なぜそう判断したかについて、インタビューに答えたり、グループで話し合ったりしました。

第二部は、中1と6年生の交流でした。始めに、中学校生活についてのアドバイスメモを6年生にプレゼントしました。中学校に入ると変わる事、楽しいこと、準備しておいたほうがよいこと等、6年生にとってはどれも参考になる内容だったと思います。

次に、小中合同でグループをつくり、協力して課題解決ゲームに取り組み



ました。どのグループも和気あいあいとした雰囲気の中で進

められ、笑顔があふれる時間となりました。最後に、全員でメッセージカードを記入し笑顔で閉会しました。小学校6年生の皆さんから、中学校進学に向けた不安を解消してもらえたのではないかと思います。



頸城中生徒の活躍 ～これからも応援をお願いします～

◆ソフトテニス部

第50回上越市民体育祭ソフトテニス大会

中学女子の部 **第3位**

須貝 和果 さん・本山 寧々 さん（3年）



◆サッカー部

・上越地区中学校新人サッカー大会 **優勝**

・JFA U-15サッカーリーグ2020新潟県3部リーグEブロック **優勝**

◆中学生の「税についての作文」

高田地区納税貯蓄組合連合会長 **優秀賞** 白鳥 颯也 さん（3年）

作文に関する学校表彰 高田地区納税貯蓄組合連合会長感謝状 上越市立頸城中学校

新潟県文化祭2020動画参加 ～よさこい部～

新潟県並びに新潟県文化振興財団の主催で「新潟県文化祭2020」がWEB上で開催されています。新型コロナウイルスに対応した「新潟県文化祭2020」を開催することで、文化芸術活動に携わる方の発表機会の確保及び県民の鑑賞機会の確保を図るとともに、国内外に新潟の文化をPRすることが目的のことで、この催しに、頸城中よさこい部が動画参加団体として県から選定され、先日動画撮影を行いました。



頸城中では、地域を元気にすることを目的に4年前から全校よさこいに取り組んでいます。そんな頸城中生徒の中のよさこい好きが集まり、「にいがた総おどり」への出演を目指して昨年7月に結成されたのが「特設よさこい部」です。残念ながら、にいがた総おどりを始め、頸城の祭典やくびき文化祭等、今年出演を予定していた催しはコロナの影響ですべて中止となりました。

しかし、来年度の行事参加に向け、現在も練習を続けています。今回の企画では、そういった私たちの「あきらめずに、明るく前進し続ける気もち」を表現する、絶好の機会を頂けたと感謝しています。

ところで、よさこいで着る法被は、地域の皆さんのご支援で購入して頂いたものです。背に記した「頸^{くび}絆^{きずな}」は、郷土頸城の強い絆を願って創られました。今、地域の行事がことごとく中止となり、地域全体の元気がなくなっているように感じています。私たちの演舞を動画にして見てもらうことで、特に地域の皆さんがほんの少しでも明るく元気になってもらえたらと願っています。

新潟県文化祭2020の動画は、
以下のWEBサイトで視聴できます
(よさこい部の動画は後日掲載予定)

YouTube



公式サイト

